

## 愛用の家具からイメージした 豊かな表情を楽しむ住まい

施工 | 宮田工業株式会社 / ブルースジャパンMIYATA



天井高2.7mと伸びやかながら、南面の窓の大きさを抑えて光を調整。コテ仕上げの塗り壁を採用し、豊かな表情を見せるダイニング。ルイス・ポールセンのヴィンテージ照明や深いブルーのカーテンなど、お気に入りのしっくりなじむ格調高い空間



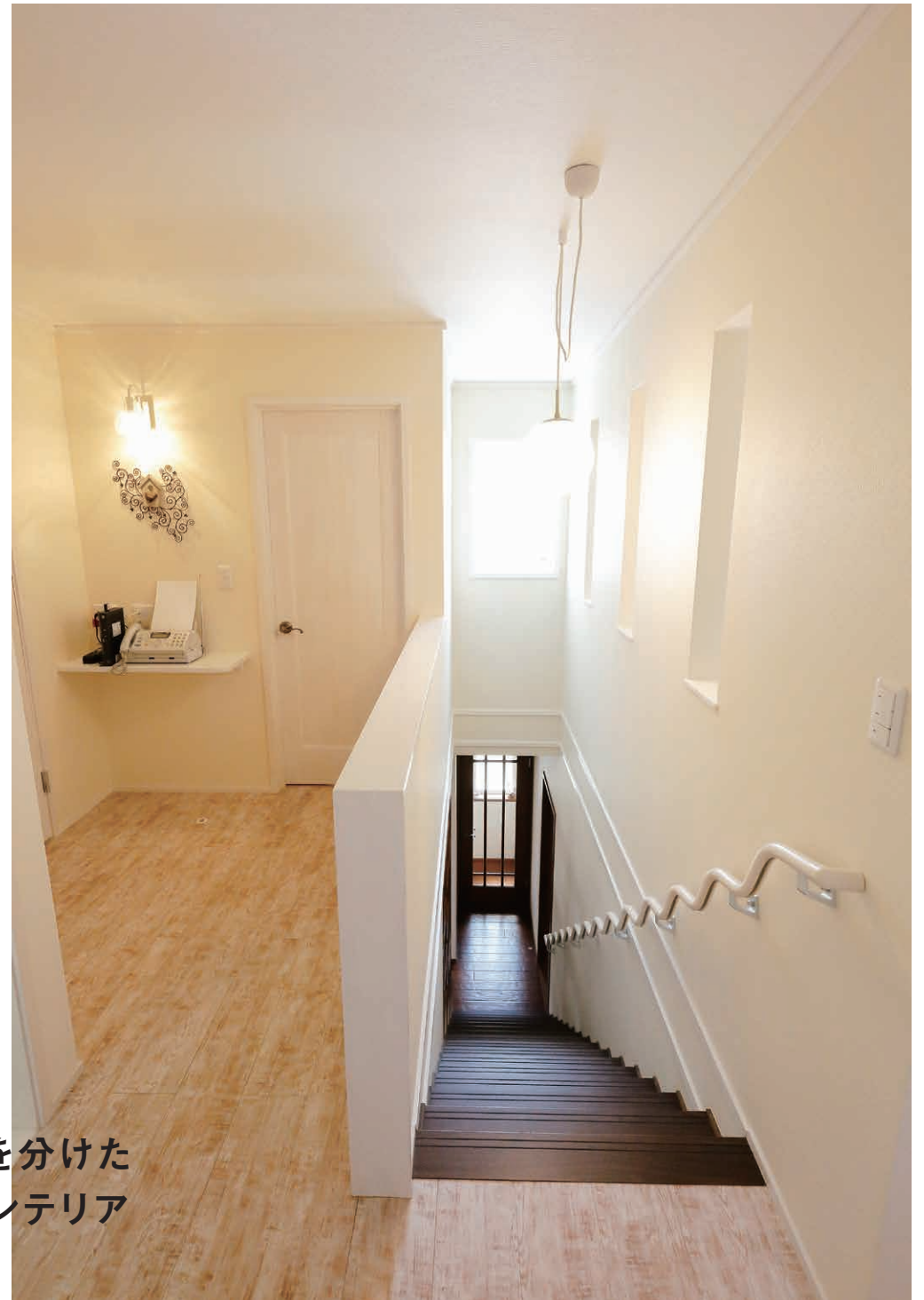
アジアンテイストの家具を配したりビンはシックにまとめ、海外ホテルのロビーのようにつるげる雰囲気。愛用の家具に合わせ、フローリングは濃い色を選んだ。最も目を引く造作書棚は、階段との間仕切りも兼用。圧迫感が出ないよう背板を抜いて軽やかに仕上げた。右奥は小上がりの和室で、必要に応じ引き戸で仕切れる

長野市  
N邸

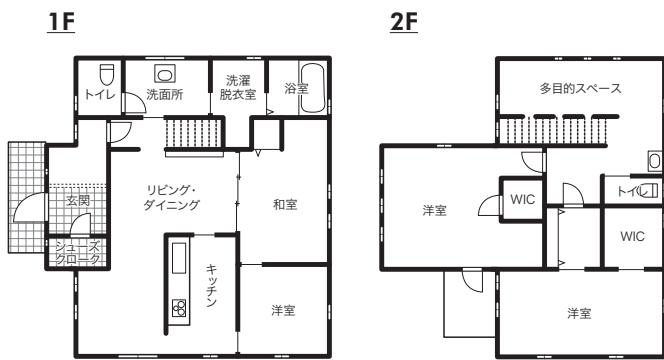
00 CASE



右 / 階段ホール越しに、2階の日差しが1階まで広がる。波のような曲線の手すりが、アート作品のような佇まい 左 / 影を落とすポーチ柱が来客を迎えてくれるアプローチ。植栽の緑と青空で、淡い色の外壁が引っ張り立つ



## 00 CASE 空間ごとにテーマを分けた 遊び心あふれるインテリア



1.白い窓枠の上げ下げ窓が洋館風の表情を見せる外観は、ご主人自ら模型をつくって検討。外壁は横目地仕上げの塗り壁で、上品なペールローズ色に 2.サニタリー関係は西側一直線に配置し、使い勝手◎。程よい明るさとプライバシーの確保を両立できる、高窓と地窓を採用 3.和室は掘りごたつ式で、座るとリビングの家族と視線の高さが合うよう設計 4.白をベースに、アイアンのベッドやワインレッドのカーテンでクラシカルにまとめた奥さまの部屋 5.三連窓がポイントのご主人の部屋は、趣味のアイテムが並ぶ 6.まばゆい光が満ちる2階ホールは、さながらギャラリーのよう 7.奥さまの部屋はドアを開けると左右に収納があり、奥にもWICを完備

DATA  
家族構成 / 夫、妻 施工 / 50代  
竣工 / 2015年9月 構造・工法 / 2×6工法 工期 / 約5か月  
建築費 / 2,500万円台 延床面積 / 132.49㎡ (40.08坪)  
1F / 73.70㎡ (22.29坪) 2F / 58.79㎡ (17.78坪)

設計 / 宮田工業一級建築設計室  
施工 / 宮田工業株式会社 ブルースジャパンMIYATA  
☎026・283・8855 関連情報 P000

「ご夫婦ともにインテリアが好きで、少しずつお気に入りの家具や照明を揃えてきたNさん。移住を機に新築を決めたときにも、愛用の家具が映える空間がすぐにイメージに浮かんで来たという。リビングはクラシックホテルのロビーみたい。ダイニングはカフェ風、和室は和モダン、2階ホールは明るい光の空間に」と、空間ごとにテーマを考えることから家づくりがスタートした。

リビングとダイニングはL字型にしてさりげなく分け、インテリアも異なるテイストに。「光を絞りたい」と南の窓はあえて小さくし、床材は家具になじむ濃茶を選んで大人の空間に仕上げた。LDKと階段を仕切るのは、天井まで届く造作の書棚。洋書から着想を得てご主人自ら図面を書いたもので、背板を抜いた軽快なデザインが視線や光を通しつつ、N邸のシンボルとして確かな存在感を放つ。反して、2階ホールは白が基調の明るい空間。個室はご夫婦それぞれの好みを反映した結果、全く違ったテイストなものも楽しい。

宮田工業に依頼した理由のひとつが、窓の配置や大きさの自由が効くこと。輸入建具のバリエーションの豊富さ。「巾木の高さを通常より1cm下げたり、家具にマッチする塗り壁の仕上げを一緒に考えてくれたり、細かなこだわりを実現してもらえて大満足」とおふたり。「住まいは、窓や建具も家具同様に大切」と考えるご夫婦の理想が映し出された、心癒される美しい住まいだ。